

あわら市全天候型子どもの遊び場の運営に係るサウンディング型市場調査 調査結果

全天候型子どもの遊び場について、令和9年3月の完成を目指し整備を進めています。本施設の完成後の運営については、業務委託を検討しており、発注仕様の適正化、持続可能な料金・運営スキームの構築、差別化・集客の具体策を把握するため、公募によるサウンディング型市場調査（以下「本サウンディング」という。）を実施しました。その結果を次のとおり公表します。

なお、本内容については、参加事業者の提案・ノウハウ保護の観点から、非公表情報（営業秘密等）を除き、意見の傾向として整理してものです。

1 実施経過

令和8年4月10日	サウンディング型市場調査実施要領の公表
令和8年5月20日～22日	サウンディングの実施

2 参加事業者

5社

3 主な調査内容

- (1) 利用料金の設定について
- (2) おもちゃ等備品の調達主体について
- (3) 認知度向上のためのアイデアについて
- (4) リピーター獲得のためのアイデアについて
- (5) 市内既存施設の連携について
- (6) 外構及びキッチンスペースの利活用のアイデアについて
- (7) 子育て支援センターとの運営連携について

4 結果概要

- (1) 利用料金の設定について
 - ・料金体系は「できるだけシンプル」が望ましい、との意見が複数ありました。
 - ・市内・市外等の居住地区分については、妥当とする意見がある一方、合理性や運用負担（確認作業・集計作業、待ち時間増等）に留意すべきとの指摘があり、導入する場合は予約・会員化等の運用設計と一体的に検討する必要があります。
 - ・団体利用（遠足等）料金、減免規定の整理・設定が必要との意見がありました。
- (2) おもちゃ等備品の調達主体について
 - ・備品調達は、行政と運営受託者が協議しながら選定することが望ましい、との意見が複数ありました。

- ・破損・更新・衛生管理を見据え、リース・レンタル（定額交換等）の活用も含めて検討すべき、との意見がありました。

- ・「家庭では用意しづらい規模・体験」に振り切るなど、備品の充実度が差別化に直結する、との意見がありました。

(3) 認知度向上、(4) リピーター獲得のためのアイデアについて

- ・イベントの実施等、来館動機を作ることが重要、との意見がありました。

- ・回数券・ポイントカード等の導入、月単位のフリーパス等の提案がありました。

- ・年パスについては、採算面で慎重に検討すべき、との指摘がありました。

- ・季節イベント、飾り付けや写真スポット等、再来館の理由づくりが重要、との意見がありました。

- ・スタッフの関わりにより体験価値を高めることが差別化につながる、との意見がありました。

(5) 市内既存施設の連携について

- ・チラシの相互配布、スタンプラリー・共通ポイントカード等の相互送客施策の提案がありました。

- ・観光客に立ち寄ってもらう導線づくりがポイント、との意見がありました。

(6) 外構及びキッチンスペースの利活用のアイデアについて

- ・キッチンスペースを活かした親子・キッズクッキング、食育講座等の展開が提案されました。

- ・一方で、キッチンスペースに活用には稼働率に不安が残るとの意見がありました。

- ・外構の活用にあたり、電源等の設備条件が整うと活用の幅が広がる、との意見がありました。その他、委託範囲に含める場合には、暑さ対策に配慮する必要があるとの意見がありました。

(7) 子育て支援センターとの運営連携について

- ・差別化の観点から連携することに価値がある、との意見がありました。

- ・一方で、保育士等の人材確保（特に土日勤務）や、相談業務の範囲整理が課題になり得るとの指摘があり、支援センターの委託については、慎重に検討すべきとの意見が複数ありました。